◆2022年6月の新刊　日本キリスト教団出版局

聖書を霊的に読み解き、「復活者キリスト」と「聖霊」の現実を解き明かす

真理の霊が来るとき

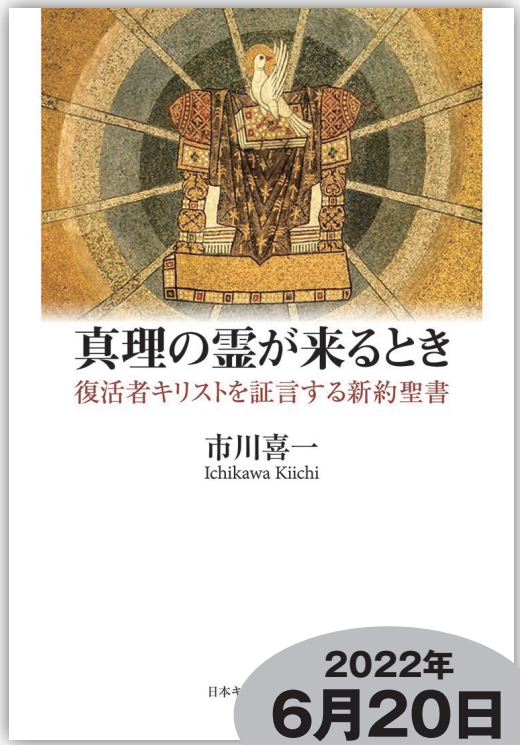
復活者キリストを証言する新約聖書

市川喜一（いちかわ きいち） 著

1930年京都市に生まれる。1951年京都工業専門学校機械科（旧制）卒業。1955年京都大学法学部卒業、同大学院法学研究科入学。学部在学中、フィンランド宣教師の集会で入信、受洗。以後、文学部哲学科基督学科（有賀鐵太郎教授）の聴講生。1956年大学院中退、独立伝道開始。59～69年、小池辰雄氏の「キリスト召団」の運動に参加、京都・大阪など関西各地、小諸などで聖書講義の活動。1986年個人福音誌「天旅」を発刊、現在に至る。「市川喜一著作集」（全29巻）を上梓。「天旅」ホームページ▶http://www.tenryo.net

新約聖書を理解するには、霊的な次元で読むことが必要だ。著者は「十字架されたキリスト」が示す光に導かれ、聖書を緻密かつ霊的に読み解く。ヨハネ福音書とパウロ書簡を中心に、読者を「復活者キリスト」と「聖霊」に出会わせる一冊。

四六判・並製・152頁・定価1,760円（本体1,600円＋税）
ISBN978-4-8184-1110-4　C0016



2022年
6月20日
刊行予定

目次

真理の霊が来るとき——出会いのカイロス……宮本久雄

まえがき
第一章　永遠のいのちを「今」生きる
第二章　復活者キリストの告知
第三章　十字架された姿の復活者キリスト
第四章　初穂としての復活者キリスト
第五章　聖霊でバプテスマする復活者キリスト
第六章　聖霊の賜物としての信仰
第七章　聖霊の賜物としての愛
第八章　聖霊による復活の希望
第九章　ヨハネ福音書における「イエス」
第十章　真理の霊が来るとき
あとがき

宮本久雄氏（東京大学名誉教授）**推薦！**

わたしは本書を繙いたとき驚嘆し、心から共感しました。